

平成29年度大学院共通科目「国際インターンシップ」 公開報告書

修士課程 人間総合科学研究科 スポーツ国際開発学共同専攻
1年 201721342 栗野泰成

「フィリピン・セブ島のスラム地域に住む子どもたちへの スポーツと音楽を通じた教育がもたらす価値の見える化」

○国・実施機関名 : フィリピン・NPO 法人セブンスピリット

○実施期間 : 2017/8/1～2017/9/15

第5回セブ島大運動会(8/15～22)、第10回UUUオーケストラ・プロジェクト(9/2～11)

○目的

スポーツ・音楽イベントそれぞれが生み出す社会的インパクトを可視化し、NPO 法人セブンスピリットの支援者への説明責任やプログラム改善に貢献すること。

○実施内容

本インターンシップでの主な業務は、NPO 法人セブンスピリットが所有する音楽スタジオの管理・運営やそこに通う子どもたちへのスポーツ教室の実施、イベントの広報やサポートなどであった。

また、通常のインターン業務に加え、NPO 法人セブンスピリットの事業の改善やファンドレイジングのために社会的インパクト評価と呼ばれる「事業や活動の結果として生じた社会的・環境的な変化、便益、学びその他効果を定量的・定性的に把握し、事業や活動について価値判断を加えること」(内閣府・社会的インパクト評価イニシアチブ HP より)を目的として、調査を実施した。

実施の手順は、下図にもあるようにステップ1のセブンスピリット「関係者の分析」から始まるが、2012年9月にすでにセブ市に在住する教員、ソーシャルワーカー、及び子どもの教育に関心を持つ成人88名に対して調査が行われ、ステップ2の段階まで終わっていた。

社会的インパクト評価をなぜ行うのか？

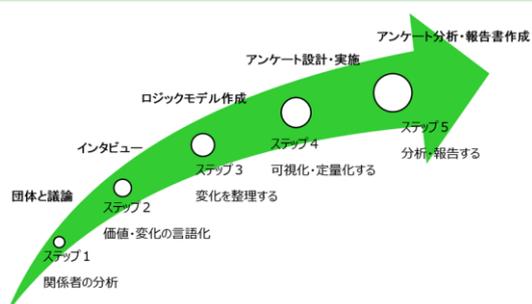
アウトカムを可視化、評価することで、

- ・組織基盤強化(学び・改善)
- ・説明責任(外部向け説明)

につながるから。

「利益」のようなわかりやすい評価指標がない
NPO法人にとって必要な仕組みである。

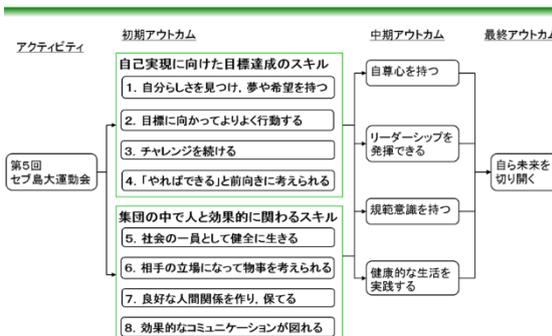
社会的インパクト評価のステップ



そのためステップ3の「変化を整理する」を実施するため、セブンスピリット関係者へのインタビューやウェブサイトをもとにロジックモデルを作成した。

社会や環境の変化を意図した活動は、短期的・長期的に様々な社会的インパクトをもたらすものであり、その全てを網羅的に把握し評価することは困難であるため、測定可能な初期アウトカムの中から「3. チャレンジを続ける」と「8. 効果的なコミュニケーションが図れる」の2つに評価対象を絞り、アンケート調査を実施した。

ステップ3 ロジックモデル(定義されたライフスキルをもとに作成)



○成果

教育活動の社会的インパクトというのは短期的に表れにくい性質があり、今回のイベントのみの成果を比較するというだけではあまり意味がない。本報告書を NPO 法人セブンスピリットの職員に共有し、継続して社会的インパクト評価を行いながら、事業の改善や支援者への説明責任を果たすことに活用してもらえようようにしたい。また、内閣府「社会的インパクト評価の推進に向けて」(2016 年)では、社会的インパクト評価の主な原則を①重要性②比例性③比較可能性④利害関係者の参加・協働⑤透明性と整理し紹介しており、今後もこの評価原則にのっとり評価方法も改善を重ねることでより適切な評価、社会的インパクトの可視化といえることができるようになると思う。

